



(続き)  
開発課題 1-1  
成長のための経済  
基盤整備  
(小目標)

電力事情改善プログラム	<p>拡大するスリランカのエネルギー需要に対応し、再生可能エネルギーの導入が進む現状も踏まえつつ、①廉価で安定した電源供給力の確保、②信頼性の高いシステムシステムの構築、③電力システムを安定かつ持続的に運用する関係機関の能力向上が必要とされている。従来は、電源開発や電化率の向上を目的とした事業を主に支援してきたが、今後は、上記の課題に対応する安定した電力供給体制を構築すべく、電力安定供給、系統信頼性向上、電力関係機関の能力向上に資する案件を中心に支援する。</p>	ハバラナ・ヴェヤンゴダ送電線建設計画	有償						95.73	
		大コロポ圏送配電損失率改善計画	有償						159.41	
		全国送配電網整備・効率化計画	有償						249.30	
		電力マスタープラン策定プロジェクト	開発計画							
上下水道・環境改善プログラム	<p>・上水道セクターについては、給水状況を改善するため、経済活動が集中する大都市圏の既存給水施設の拡張や給水効率の向上、地方部の給水施設の整備等を行う。 ・下水道セクターについては、衛生環境及び河川や海の水質汚濁を改善するため、下水道施設や衛生施設の整備、水質管理能力の向上等を行う。 ・環境改善については、我が国の技術や知見を活用しつつ、廃棄物管理に関する支援を行う。</p>	アヌラダプラ県北部上水道整備計画(フェーズ1)	有償						51.66	
		アヌラダプラ県北部上水道整備計画(フェーズ2)	有償						231.37	
		カル河上水道拡張計画(第一期)	有償						318.10	
		経済的な水道整備事業に資するPCタンクの普及・実証事業	中小企業支援						1.00	中小企業海外展開支援事業「普及・実証事業」
		パッケージ型無取水削減策のビジネス化普及・実証事業	中小企業支援						1.00	中小企業海外展開支援事業「普及・実証事業」
		適正な配水の実現と無取水削減に資するPSVシステム構築のための案件化調査	中小企業支援						0.30	中小企業海外展開支援事業「案件化調査」
		キャンディ市下水道整備計画	有償						140.87	
		スリジャヤワルダナプラコッテ下水道整備事業準備調査	協準							
		国家上下水道公社西部州南部地域事業運営能力向上プロジェクト	技プロ							
		水質管理能力向上プロジェクト	技プロ						2.64	
		廃棄物管理における汚染防止・環境負荷低減	個別専門家							
		都市ごみ再資源化施設に係る普及・実証事業	中小企業支援						1.00	中小企業海外展開支援事業「普及・実証事業」
		感染性医療廃棄物焼却処理普及・実証事業	中小企業支援						1.00	中小企業海外展開支援事業「普及・実証事業」
自己処理型水洗式バイオトイレの普及・実証事業	中小企業支援						0.84	中小企業海外展開支援事業「普及・実証事業」		
飲料水浄化装置案件化調査	中小企業支援						0.29	中小企業海外展開支援事業「案件化調査」		
ゴール市ごみ収集車整備計画	草の根無償						0.12			
環境保全分野のボランティア派遣	JOCV/SV									
政策・制度改革、人材育成プログラム	<p>スリランカにおける政策・制度改革や人材育成を支援し、貿易・投資促進を図る。</p>	開発政策借款(民間セクター振興、ガバナンス向上、財政健全化)	有償					100.00		
		人材育成奨学計画(JDS)	無償					4.70		
		投資促進アドバイザー	個別専門家							
		国家計画局能力強化支援アドバイザー	個別専門家							
		国家計画局能力強化支援アドバイザーフェーズ2	個別専門家							
人材育成分野の課題別研修他	課題別研修他									

情報通信技術発展プログラム	スリランカの経済・社会開発に資するよう、同国における情報通信技術（ICT）の発展を支援し、既存システムのデジタル化やICTの導入によりICTの利活用を促進する。	地上テレビ放送デジタル化事業	有償								137.17	
		地上デジタル放送推進プロジェクト	技プロ									
		ルババヒニ国営放送局番組ソフト整備計画	一般文化								0.53	

**重点分野2 (中目標)** 包摂性に配慮した開発支援

**【現状と課題】**  
スリランカは、2009年の国内紛争終了後、着実に経済成長を遂げる一方で、労働人口の27%が農業セクターに従事し、貧困層の多くが農村に居住している。また、北部・東部州等、過去の紛争の影響により開発が遅れている地域もあり、地域間格差や所得格差が拡大しつつある。このため、これらの開発が遅れている地域の産業発展を通じた生計向上や紛争影響地域の生活環境改善が課題となっている。

**【開発課題への対応方針】**  
開発が遅れている地域の産業発展を通じた生計向上に向け、農業分野において、生産力向上と生産多角化の2つのアプローチで支援を行う。また、沿岸部等の漁業を中心とした地域についても配慮する。  
北部・東部州等の紛争影響地域において、複雑な政治社会状況や脆弱層への配慮を行いつつ、住民の生活環境改善及び生産活動に直結する基礎インフラの整備、生計活動強化、地雷除去を支援する。

協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
				2016年度以前	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
開発課題2-1 (小目標) 農村地域の社会経済環境の改善  農漁村振興プログラム	生産力向上のために、灌漑施設の整備・操作・維持管理や営農技術の改善等を、生産多角化のために、酪農や野菜等の選択的生産拡大、バリューチェーンを意識した商業的農業への移行等を中心にスリランカ農漁業の発展を支援する。	農業アドバイザー	個別専門家								
		北中部乾燥地域における連珠型ため池灌漑開発計画策定プロジェクト	開発計画							4.30	
		農業農村開発技術活用促進調査事業	農林水産省技協								
		気候変動適応型灌漑排水施設保全等対策事業のうち洪水利用型灌漑技術検討調査	マルチ								農林水産省メコン河委員会(IWMI)拠出金
		ジャフナ大学農学部研究研修複合施設設立計画	無償							16.60	
		北部州酪農開発プロジェクト	技プロ								
		茶成分分析計を活用した紅茶産業競争力強化に関する普及・実証事業	中小企業支援							0.99	中小企業海外展開支援事業「普及・実証事業」
		農業生産性および食の安全性の向上を実現する水稲圃場情報提供システム構築のための案件化調査	中小企業支援							0.48	中小企業海外展開支援事業「案件化調査」
		農村生産者コミュニティのコーヒー分散型生産・集約管理システムの導入基礎調査	中小企業支援							0.07	中小企業海外展開支援事業「基礎調査」
		減農薬、無農薬農法の為のLED式防虫灯具による効果的運用の基礎調査	中小企業支援							0.08	中小企業海外展開支援事業「基礎調査」
農業分野のボランティア派遣	JOCV/SV										

<p>開発課題 2-2 (小目標) 紛争影響地域の開発促進</p>	<p>紛争影響地域 生計向上プログラム</p>	<p>紛争影響地域の生活・生計向上に資する基礎インフラ整備(地方道路・橋梁、中小規模灌漑・給水、学校)、農漁業や縫製分野での生計向上、地雷除去の支援を行う。</p>	復興地域における地方インフラ開発計画	有償							129.57		
			後発地域における農産物の生産・販売促進による地域開発支援	個別専門家									
			内戦復興における女性のエンパワメント	草の根技協									
			マナー県におけるコミュニティ主体の学習環境改善を通じた持続可能な再定住計画	無償								5.07	UN連携/UN-Habitat実施
			紛争影響地域生産性回復分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償								1.81	
			帰還民を対象としたコミュニティ再建及び生計向上事業	日本NGO								1.06	
			生計向上に関するボランティア派遣	JOCV/SV									
重点分野 3 (中目標)	脆弱性の軽減												
<p>【現状と課題】          防災等については、スリランカでは気候変動の影響等により近年大規模な自然災害(洪水、地滑り、干ばつなど)が発生しており、政府や国民の災害に関する認識が高まっている。一方、防災対策は、財政上の制約もあり災害発生後の事後対応が中心で、また、各省庁の連携も不足しており、予防・対策による被害軽減の取組が課題となっている。          社会サービスについては、“Free education, free health”がスリランカの独立以来の一貫した方針であり、その結果、所得レベルと比して高い識字率と良好な保健医療レベルを達成し、一つの成功事例ともされてきた。一方で、人口構造の変化や経済成長に伴って要求される水準の高まりなどの社会変化に対応した改革を行っておらず、相対的な質の低下が指摘されており、社会サービス基盤の改善が課題となっている。特に、保健医療分野においては、基礎的な保健指標は改善しているものの、高齢化の進展や疾病構造の変化に伴う循環器系疾患を主とした非感染性疾患(Non-Communicable Diseases: NCDs)の予防と治療、医療費増加に伴う国家財政負担の増加が課題となっている。</p>			<p>【開発課題への対応方針】          防災等については、仙台防災枠組み等の国際潮流にも留意しつつ、近年頻発している大規模自然災害の経験を活かした“Build Back Better”の考えに基づくハードとソフトの両面から支援を行う。          社会サービスについては、NCDs対策を中心とする予防医療の強化や管理体制の強化によるサービス向上とコスト削減、高齢者のヘルスケアへの取組を支援する。また、障害者・児を含む脆弱層への社会サービス基盤改善に係る取組を支援する。</p>										



その他													
その他	【現状と課題】			【開発課題への対応方針】							支援額 (億円)	備考	
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間								
					2016 年度 以前	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度			
			キャンディ都市開発計画策定プロジェクト	開発計画	—	—							
			地方産機材ノン・プロジェクト無償	無償	—	—					5.00		
			海上安全能力向上計画	無償	—	—	—				18.30		
			アジア・太平洋地域における動物衛生対策活動支援事業	マルチ	—	—							農水省国際獣疫事務局(OIE)拠出事業
			"ワンヘルス"による動物疾病対策・食料安全保障強化事業	マルチ	—	—							農水省国際獣疫事務局(OIE)拠出事業

【凡例】 「協準」(=全ての協カ準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協カプロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協カ)、「個別専門家」(=個別機材)、「国別研修」(=課題別研修他) ( =課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協カ隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術) ( =科学技術協カ(技プロ型及び個別専門家型) )、「草の根技協」(=草の根技術協カ)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協カ)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協カ)、「水産無償」(=水産無償資金協カ)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協カ)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協カ)、「緊急無償」(=緊急無償資金協カ)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協カ)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協カ)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査)、「実線「———」(=実施期間)、「破線「- - - -」(=実施予定期間)